



地元等 活動

政治は 実行 声を カタチに

人材 育成 応援

メディア 出演



すずき英敬プロフィール

- 1974年 8月15日生まれ 兵庫県出身
- 1998年 東京大学経済学部卒
- 1998年 通商産業省(現・経済産業省)入省
- 2011年 三重県知事就任(3期10年)
- 2021年 衆議院議員初当選
- 2022年 内閣府大臣政務官を拝命(～2023年9月)
- 2024年 衆議院議員当選(2期目)

党の主な役職

- 選挙対策委員会 副委員長/選挙制度調査会 事務局長代理
- 財務金融部会 部長代理/財政・金融等関係団体委員 委員長
- デジタル社会推進本部 事務局長
- 創薬・台湾政策・少子化対策等の事務局長
- 等 約60の役職に就任

議員連盟・民間団体の役職

- 三重県ラグビーフットボール協会 会長/三重県体操協会 顧問
- 三重県相撲連盟 最高顧問/三重県野球協議会 顧問
- 等 100以上の役職に就任
- 妻(武田美保:アーティスティックスイミング五輪メダリスト)/一男一女

すずき英敬と日本の未来のために 共に行動 しましょう!

自民党

自民党に入党していただける方を募集しています。詳細は事務局までお問い合わせください。

日々の活動報告

SNSはこちらから >>>



編集・発行

自由民主党三重県第四選挙区支部

- 伊勢事務所 三重県伊勢市小木町677-1(令和6年より移転)
TEL:0596(31)0001 FAX:0596(31)0002
- 東京事務所 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館614号室
TEL:03(3508)7269 FAX:03(3508)3539



AK 通信

えい けい
すずき英敬 通信
Vol.11

令和7年 夏

ご挨拶

第217回通常国会が閉会しました。今国会では、NHK中継入りの予算委員会をはじめ、4回の質問に立たせていただき、その質問をきっかけにいくつかの取組が実現しました。

党では、約60の役職に就かせていただき、文教・スポーツ、財務金融、外交・外国人材、エネルギー、デジタル・宇宙・科学技術、スタートアップ・創薬、こども・若者、中小企業・農林水産業・離島半島、分散型国づくり・国土強靱化、選挙制度・行政改革などの様々な分野で政府への提言のとりまとめなどを行い、骨太の方針をはじめとした政府文書に盛り込むことができました。今後は、経済対策や来年度予算措置に向けて、しっかりと具体的な取組につなげていきます。

一方で、今回の参議院選挙は大変悔しい結果に終わりました。敗北の理由は様々ありますが、国民の現場、暮らし、思いや感覚からの乖離、国民の方を本当に向いているのか、ということも我々自民党には突き付けられていると考えています。

私達政治家は、「現場の肌感覚」「現場の風景」から決して乖離してはならない、それを肝に銘じて様々な政策を講じていく必要があります。今後も「政治は実行」「皆様の声をカタチに」との思いを忘れず、自民党を中から立て直し、新しい時代の政治を創ってまいります。引き続き皆様にはご指導ご鞭撻のほど、宜しく申し上げます。

えい けい
衆議院議員 鈴木英敬



三重県第4区

伊勢市、尾鷲市、鳥羽市、熊野市、志摩市、多気郡(多気町、明和町、大台町)、度会郡(玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町)、北牟婁郡(紀北町)、南牟婁郡(御浜町、紀宝町)

参議院議員選挙2025

三重県選挙区においては、厳しい状況の中、大変多くの方々からご支援をいただいたにも関わらず、議席を死守することができず、心からお詫び申し上げます。酷暑や激しい雨の中でも、多くの皆様にご支援いただいたことに改めて心から感謝申し上げます。

私の選挙区（三重4区）は僅差（47票差）で辛勝させていただいたものの、課題も多くありますので、県全体の結果についても、総括・反省し、その教訓を今後に活かしてまいります。

自民党全体としても、大変厳しい結果でした。自民党が変わらなければならない。新しい人材で、新しい自民党に、新しい時代の政治を創っていく。それを今やらなければ、国民生活や国益を守ることはできない。しっかり取り組んでまいります。



第217回通常国会で取り組んだこと

国会質問

NHK中継入りの予算委員会での初質問に立たせていただきました。我が国が優先度を上げて取り組むべき危機対応として、台湾海峡、人手不足、東京一極集中の3つについて質問。多くの前向きな答弁をいただきました。

その他、予算委員会分科会（経済産業省）では、我が国の課題となっている「3つの大きな赤字」（デジタル・バイオ・エネルギー）への対応について、経済産業委員会では、北海道電力・泊原子力発電所の再稼働等について、安全保障委員会では、ロシアのウクライナ侵略の教訓等について、それぞれ質問しました。

これらの質問が引き金の一つとなり、本年4月に、申請から12年を経て、泊原発3号機が事実上「合格」とするとともに、無人機やAIなど将来の戦闘方法を検討するチームが防衛省内に設置されることになりました。

外 交

経済成長・エネルギー安全保障・脱炭素の同時達成を目指すAZEC議員連盟（私が事務局長）でインドネシア・マレーシアを訪問。インドネシアのプラボウォ大統領の私邸での夕食会に招待。マレーシアのアンワル首相とも会談。エネルギー関連、米国の関税措置について意見交換を行いました。

AZEC議員連盟の最高顧問である岸田前総理が石破総理の特使として任命されたことから、我が国の首相や閣僚が海外要人との外交交渉や会談を行う際に近い形でのオペレーションを間近で学ぶことができました。

また、三重県知事時代に台湾との観光交流に積極的に取り組んできたことを中心にご評価いただき、日本の国会議員として初となる台湾観光貢献賞「台湾観光の友」を受賞しました。三重県の官民あげてご協力いただいた関係者皆様のおかげであり、改めて心から感謝申し上げます。

コメ（統計データの見直し等）

地元で毎週のようにコメ関係者の皆様から話を伺いました。「統計よりも獲れていないのではないか」。コメ生産の統計見直しの重要性、現行統計の現場の生産者の皆様の肌感覚との乖離を小泉進次郎 農林水産大臣に伝達したところ、約70年から毎年秋に実施してきた「米の作況指数」（コメの出来高を示す指標）の公表を廃止すると、迅速に対応いただきました。

新時代に向けた3つの取組

内閣総理大臣への提言申入れ18回 官房長官・大臣への提言申入れ17回

提言の多くの内容が、6月に閣議決定された骨太の方針や成長戦略等に反映

1 新時代の「勝ち筋」

● **新しい資本主義** 新しい資本主義実行本部の事務局次長として提言案をとりまとめ。予算・税制・公的制度の閾値の総点検と見直し、官公需における価格転嫁の徹底、医療・介護・保育・福祉等の公定価格引上げを盛り込みました。

● **デジタル** 事務局長を務めるデジタル社会推進本部において、次の100年に向けて、デジタル政策2.0を再始動し、デジタル庁が「社会全体のDX」の真の司令塔になることを提言。データ戦略（官民データ活用推進基本法等の改正案の次期通常国会提出）等の分野別提言もとりまとめました。

● **創薬/量子** 事務局長を務める創薬力強化PTにおいて、医薬品業界の構造改革の方向性等を提言。また、事務局長代理を務める量子産業創出PTでも提言をとりまとめ。「技術も勝って、産業化・ビジネスでも勝って、国際ルール形成や標準化も日本が主導する」をめざします。

● **林業・木材産業、水産業** 林政対策委員会の事務局長として、森林の集積・集約化や需要創出、火災を含めた災害に強い森林づくりなどを提言しました。また、伊勢湾を豊かな海にするため、リンや窒素の環境基準に関する水域指定の見直しを政府に働きかけ、実現の方向に向かっています。

● **エネルギー** 事務局次長を務める総合エネルギー戦略調査会で、脱炭素、安定供給、経済成長の観点から、原発も再エネも最大限活用すること、国産再エネを推進することなどを提言。第7次エネルギー基本計画に反映されました。

2 新時代の「自律」「規律」

● **外国人材** 事務局長を務める外国人材等に関する特別委員会において、外国人の公租公課未納対応、特定技能・育成就労、電子渡航認証制度（JESTA）の整備前倒し等の入管行政DX、外免切替の厳格化等を提言。政府の「不法滞在者ゼロプラン」や外免切替制度の改正案に反映されました。

● **社会機能分散** 社会機能移転分散型国づくり本部の事務局長として、大規模災害時における政治・社会・経済機能の分散やバックアップのあり方について議論を進めています。

● **教育/少子化対策** 事務局長を務める高専小委員会、不登校支援PT、少子化対策等小委員会で提言をまとめました。

3 新時代の「政治」

● **選挙制度の見直し** 選挙制度調査会の事務局長代理として、同調査会や与野党7党の協議会で論点説明や野党との調整を実施。与野党で公職選挙法改正案を提出し、多くの答弁を経験。引き続き、選挙におけるSNS活用やいわゆる「二馬力問題」などを優先的に議論しています。



Extra